

# インデックスファンドNYダウ30 (アメリカ株式)

## 運用報告書 (全体版)

第12期 (決算日 2026年3月23日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「インデックスファンドNYダウ30 (アメリカ株式)」は、2026年3月23日に第12期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型	
信託期間	2014年3月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券に投資を行ない、米国の株式市場を代表する指数 (ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドNYダウ30 (アメリカ株式)	「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド アメリカ株式	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドNYダウ30 (アメリカ株式)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド アメリカ株式	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<642320>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資 産額			
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落	中 率					(ベンチマーク)	期 騰 落	中 率
	円		円		%			%	百万円			
8期(2022年3月22日)	26,828		0		17.7	281.22		18.2	91.9	5.5	—	4,366
9期(2023年3月20日)	27,642		0		3.0	290.94		3.5	94.1	5.1	—	6,335
10期(2024年3月21日)	39,354		0		42.4	416.12		43.0	92.7	7.3	—	10,493
11期(2025年3月21日)	41,599		0		5.7	442.21		6.3	91.7	8.3	—	12,364
12期(2026年3月23日)	48,708		0		17.1	520.30		17.7	92.2	7.3	—	15,491

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

(注) 「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」は、米国の株式市場の動きを表す代表的な株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、アモーヴァ・アセットマネジメントが同指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2026年3月23日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円換算ベース) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2025年3月21日	円 41,599	% —	442.21	% —	% 91.7	% 8.3
3月末	41,349	△ 0.6	439.68	△ 0.6	90.5	9.4
4月末	38,436	△ 7.6	408.87	△ 7.5	94.5	5.6
5月末	40,438	△ 2.8	430.30	△ 2.7	93.0	6.8
6月末	42,292	1.7	450.15	1.8	95.1	4.9
7月末	44,273	6.4	471.46	6.6	95.7	3.8
8月末	44,728	7.5	476.46	7.7	94.2	5.8
9月末	46,040	10.7	490.62	10.9	96.0	4.1
10月末	48,894	17.5	521.34	17.9	94.4	5.6
11月末	49,634	19.3	529.40	19.7	95.7	4.3
12月末	50,742	22.0	541.43	22.4	93.1	10.6
2026年1月末	50,423	21.2	538.37	21.7	94.8	6.0
2月末	51,599	24.0	551.13	24.6	91.5	8.5
(期 末) 2026年3月23日	48,708	17.1	520.30	17.7	92.2	7.3

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

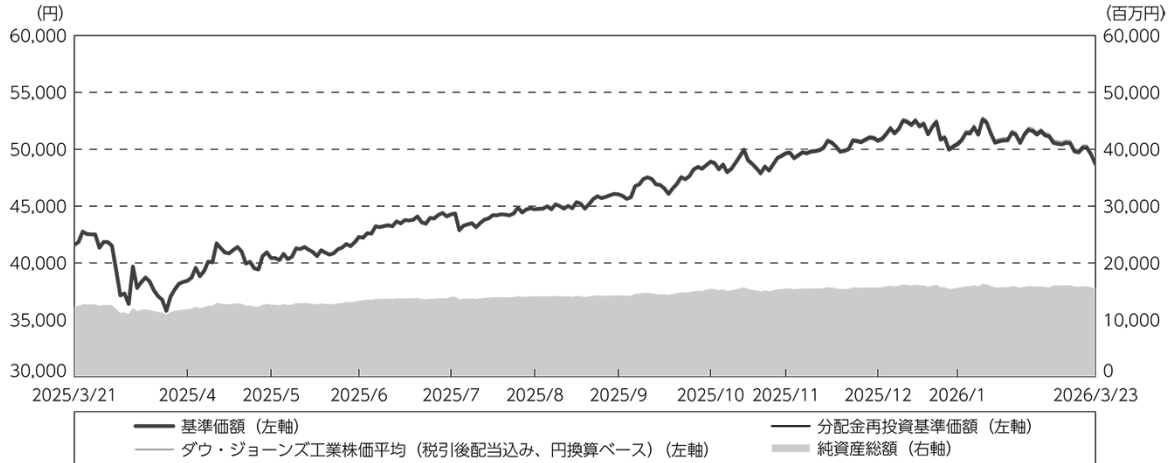
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ○運用経過

（2025年3月22日～2026年3月23日）

## 期中の基準価額等の推移



期 首：41,599円

期 末：48,708円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 17.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）は、期首（2025年3月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に実質的に投資し、米国の株式市場を代表する指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・米国が相互関税の上乗せ部分について一部の国・地域に対して90日間停止すると発表し世界景気の悪化に対する警戒感が後退したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が雇用の下振れリスクの増大を踏まえて利下げを再開したこと。
- ・生成AI（人工知能）向け半導体需要を追い風に関連企業の業績拡大への期待が高まったこと。

### <値下がり要因>

- ・米国政権による相互関税の内容が予想以上に広範な国・地域を対象としたことを受け、世界的な景気減速や貿易摩擦の激化が懸念されたこと。
- ・米国議会で可決した減税法案が米国の債務負担を拡大させるとの見方が強まったこと。
- ・米国とイランの軍事衝突を受けた原油価格高に伴うインフレ高進への警戒感から米国の長期金利が上昇傾向となったこと。

## 投資環境

### （米国株式市況）

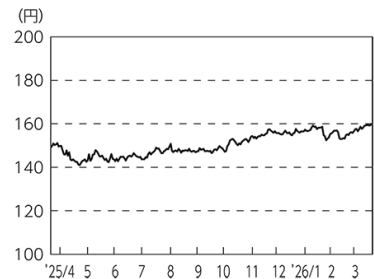
米国株式市場では、期間の初めと比べてダウ・ジョーンズ工業株価平均は上昇しました。

米国政権による相互関税の内容が予想以上に広範な国・地域を対象としたことを受け、世界的な景気減速や貿易摩擦の激化が懸念されたこと、米国議会で可決した減税法案が米国の債務負担を拡大させるとの見方が強まったこと、中東の軍事衝突を受けた原油価格の上昇によりインフレ再加速への警戒感から米国の長期金利が上昇傾向となったことなどが株価の重しとなったものの、米国が相互関税の上乗せ部分について一部の国・地域に対して90日間停止すると発表し、世界景気の悪化に対する警戒感が後退したことや、日本に続き欧州連合（EU）とも当初の関税率を引き下げることで合意したこと、米国と中国による互いに課した追加関税の引き下げなどでの合意を受け貿易交渉の進展が期待されたこと、生成AI向け半導体需要を追い風に関連企業の業績拡大への期待が高まったこと、FRBが雇用の下振れリスクの増大を踏まえて利下げを再開したこと、米軍の攻撃によりベネズエラ大統領が拘束されたことを受けて、同国の石油利権に再参入できるとの期待から米国のエネルギー関連株が上昇したことなどが支援材料となり、ダウ・ジョーンズ工業株価平均は上昇しました。

### （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（インデックス マザーファンド アメリカ株式）

主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、17.1%の値上がりとなり、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率17.7%を概ね0.6%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

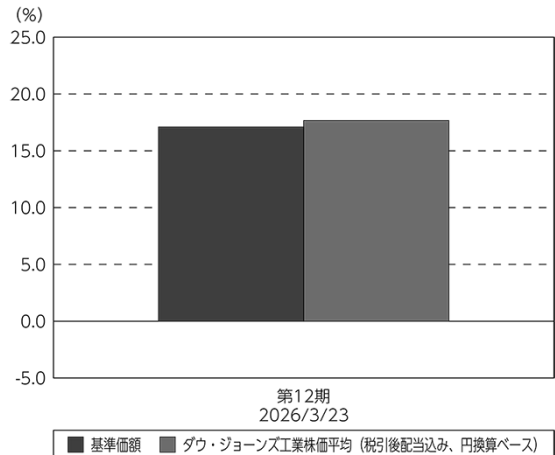
<プラス要因>

- ・ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異が寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用を支払ったこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第12期
	2025年3月22日～ 2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	38,708

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

（インデックス マザーファンド アメリカ株式）

引き続き、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年3月22日～2026年3月23日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	314	0.686	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(137)	(0.299)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(152)	(0.332)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 25)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 1)	(0.002)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 1)	(0.002)	
(c) そ の 他 費 用	37	0.081	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 5)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 30)	(0.065)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標準使用料など
合 計	353	0.771	
期中の平均基準価額は、45,737円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

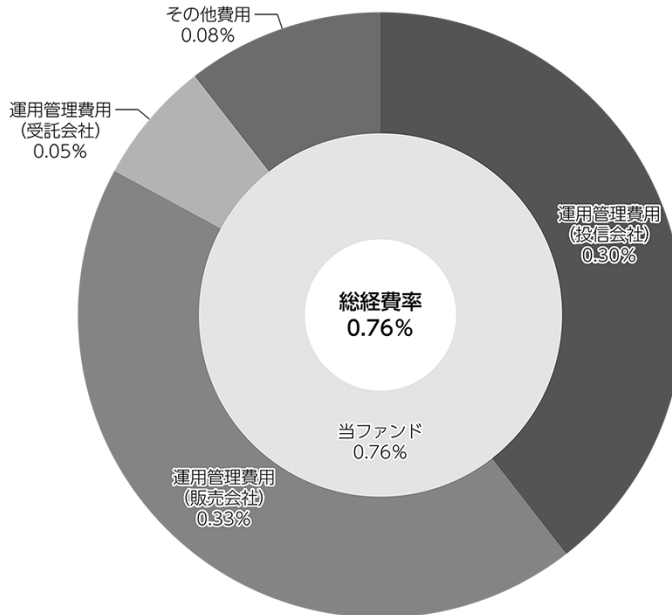
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年3月22日～2026年3月23日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インデックス マザーファンド アメリカ株式	千口 545,403	千円 2,697,332	千口 376,223	千円 1,920,877

## ○株式売買比率

(2025年3月22日～2026年3月23日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	インデックス マザーファンド アメリカ株式	
(a) 期中の株式売買金額	32,945,633千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	63,067,559千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年3月22日~2026年3月23日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2026年3月23日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
インデックス マザーファンド アメリカ株式		2,730,525	2,899,705	15,489,934

(注) 親投資信託の2026年3月23日現在の受益権総口数は、11,296,448千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インデックス マザーファンド アメリカ株式	15,489,934	99.5
コール・ローン等、その他	78,297	0.5
投資信託財産総額	15,568,231	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド アメリカ株式において、当期末における外貨建純資産 (57,612,505千円) の投資信託財産総額 (60,605,890千円) に対する比率は95.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=159.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月23日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	15,568,231,619
コール・ローン等	68,892,103
インデックス マザーファンド アメリカ株式(評価額)	15,489,934,310
未収入金	9,403,810
未収利息	1,396
(B) 負債	76,716,534
未払解約金	14,481,400
未払信託報酬	52,571,411
その他未払費用	9,663,723
(C) 純資産総額(A-B)	15,491,515,085
元本	3,180,461,106
次期繰越損益金	12,311,053,979
(D) 受益権総口数	3,180,461,106口
1万口当たり基準価額(C/D)	48,708円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,972,358,589円、期中追加設定元本額は993,739,793円、期中一部解約元本額は785,637,276円です。

(注) 1口当たり純資産額は4.8708円です。

## ○損益の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	254,566
受取利息	254,566
(B) 有価証券売買損益	1,985,367,006
売買益	2,367,913,851
売買損	△ 382,546,845
(C) 信託報酬等	△ 107,754,461
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,877,867,111
(E) 前期繰越損益金	1,908,239,726
(F) 追加信託差損益金	8,524,947,142
(配当等相当額)	( 5,175,759,136)
(売買損益相当額)	( 3,349,188,006)
(G) 計(D+E+F)	12,311,053,979
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	12,311,053,979
追加信託差損益金	8,524,947,142
(配当等相当額)	( 5,180,933,219)
(売買損益相当額)	( 3,344,013,923)
分配準備積立金	3,786,106,837

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年3月22日～2026年3月23日)は以下の通りです。

項目	2025年3月22日～ 2026年3月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	213,146,573円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,664,720,538円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,524,947,142円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,908,239,726円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	12,311,053,979円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	38,708円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2025年3月22日から2026年3月23日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第58条の2）
- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
  - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
  - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」から「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com/)」に変更いたしました。（第58条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# インデックス マザーファンド アメリカ株式

## 運用報告書

第12期（決算日 2026年3月23日）  
（2025年3月22日～2026年3月23日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年3月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式に投資し、米国の株式市場を代表する指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。
主要運用対象	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式に投資し、米国の株式市場を代表する指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていない株式についても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されている株式の一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引や外国為替予約取引等を活用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<637726>

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
	期 騰 落	中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
8期(2022年3月22日)	28,536	18.6	281.22	18.2	91.9	5.5	—	76,007
9期(2023年3月20日)	29,631	3.8	290.94	3.5	94.1	5.1	—	64,045
10期(2024年3月21日)	42,514	43.5	416.12	43.0	92.7	7.3	—	56,395
11期(2025年3月21日)	45,279	6.5	442.21	6.3	91.7	8.3	—	66,438
12期(2026年3月23日)	53,419	18.0	520.30	17.7	92.2	7.3	—	60,344

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) 「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」は、米国の株式市場の動きを表す代表的な株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、アモーヴァ・アセットマネジメントが同指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2026年3月23日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (税引後配当込み、円換算ベース) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2025年3月21日	円	%		%	%	%
	45,279	—	442.21	—	91.7	8.3
3月末	45,016	△ 0.6	439.68	△ 0.6	90.5	9.4
4月末	41,870	△ 7.5	408.87	△ 7.5	94.5	5.6
5月末	44,078	△ 2.7	430.30	△ 2.7	93.0	6.8
6月末	46,129	1.9	450.15	1.8	95.2	4.9
7月末	48,321	6.7	471.46	6.6	95.7	3.8
8月末	48,846	7.9	476.46	7.7	94.2	5.8
9月末	50,313	11.1	490.62	10.9	96.0	4.1
10月末	53,466	18.1	521.34	17.9	94.4	5.6
11月末	54,306	19.9	529.40	19.7	95.7	4.3
12月末	55,556	22.7	541.43	22.4	93.1	10.6
2026年1月末	55,242	22.0	538.37	21.7	94.8	6.0
2月末	56,562	24.9	551.13	24.6	91.6	8.5
(期 末) 2026年3月23日	53,419	18.0	520.30	17.7	92.2	7.3

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ○運用経過

(2025年3月22日～2026年3月23日)

## 基準価額の推移

期間の初め45,279円の基準価額は、期間末に53,419円となり、騰落率は+18.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・米国が相互関税の上乗せ部分について一部の国・地域に対して90日間停止すると発表し世界景気の悪化に対する警戒感が後退したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が雇用の下振れリスクの増大を踏まえて利下げを再開したこと。
- ・生成AI（人工知能）向け半導体需要を追い風に関連企業の業績拡大への期待が高まったこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・米国政権による相互関税の内容が予想以上に広範な国・地域を対象としたことを受け、世界的な景気減速や貿易摩擦の激化が懸念されたこと。
- ・米国議会で可決した減税法案が米国の債務負担を拡大させるとの見方が強まったこと。
- ・米国とイランの軍事衝突を受けた原油価格高に伴うインフレ高進への警戒感から米国の長期金利が上昇傾向となったこと。

## (米国株式市況)

米国株式市場では、期間の初めと比べてダウ・ジョーンズ工業株価平均は上昇しました。

米国政権による相互関税の内容が予想以上に広範な国・地域を対象としたことを受け、世界的な景気減速や貿易摩擦の激化が懸念されたこと、米国議会で可決した減税法案が米国の債務負担を拡大させるとの見方が強まったこと、中東の軍事衝突を受けた原油価格の上昇によりインフレ再加速への警戒感から米国の長期金利が上昇傾向となったことなどが株価の重しとなったものの、米国が相互関税の上乗せ部分について一部の国・地域に対して90日間停止すると発表し、世界景気の悪化に対する警戒感が後退したことや、日本に続き欧州連合（EU）とも当初の関税率を引き下げることで合意したこと、米国と中国による互いに課した追加関税の引き下げなどでの合意を受け貿易交渉の進展が期待されたこと、生成AI向け半導体需要を追い風に関連企業の業績拡大への期待が高まったこと、FRBが雇用の下振れリスクの増大を踏まえて利下げを再開したこと、米軍の攻撃によりベネズエラ大統領が拘束されたことを受けて、同国の石油利権に再参入できるとの期待から米国のエネルギー関連株が上昇したことなどが支援材料となり、ダウ・ジョーンズ工業株価平均は上昇

基準価額の推移



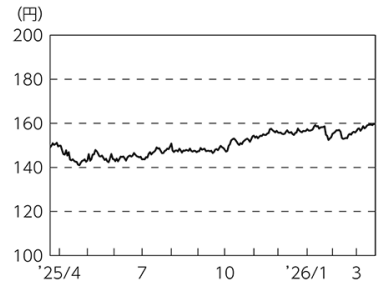
期首	期中高値	期中安値	期末
2025/03/21	2026/02/09	2025/04/22	2026/03/23
45,279円	57,632円	38,991円	53,419円

しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



## ポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、18.0%の値上がりとなり、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率17.7%を概ね0.3%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

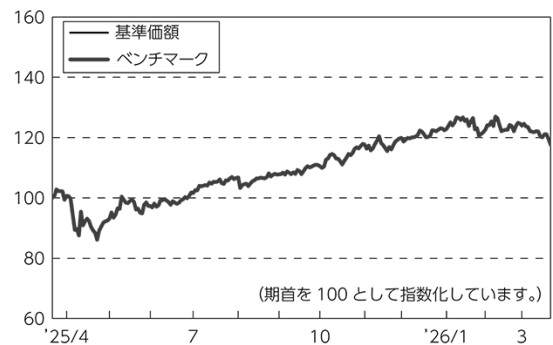
<プラス要因>

- ・ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異が寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用を支払ったこと。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



## ○今後の運用方針

引き続き、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2025年3月22日～2026年3月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) (先物・オプション)	円 2 (1) (1)	% 0.004 (0.002) (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	6 (6)	0.011 (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	8	0.015	
期中の平均基準価額は、49,975円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年3月22日～2026年3月23日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株	千アメリカドル	百株	千アメリカドル
		2,235 ( 144)	55,220 ( 695)	6,219 ( -)	158,486 ( 695)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株式先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
		42,849	44,058	-	-

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○株式売買比率

(2025年3月22日～2026年3月23日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	32,945,633千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	63,067,559千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2026年3月23日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
			千アメリカドル	千円		
(アメリカ)	百株	百株				
3M CO	599	471	6,650	1,060,890	資本財	
AMERICAN EXPRESS CO	599	471	13,918	2,220,207	金融サービス	
BOEING CO/THE	599	471	9,190	1,466,013	資本財	
CATERPILLAR INC	599	471	32,069	5,115,718	資本財	
CHEVRON CORP	599	471	9,501	1,515,676	エネルギー	
COCA-COLA CO/THE	599	471	3,520	561,626	食品・飲料・タバコ	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	599	471	38,317	6,112,369	金融サービス	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	599	471	10,432	1,664,216	資本財	
HOME DEPOT INC	599	471	15,107	2,409,920	一般消費財・サービス流通・小売り	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	599	471	11,387	1,816,512	ソフトウェア・サービス	
JOHNSON & JOHNSON	599	471	11,085	1,768,427	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JPMORGAN CHASE & CO	599	471	13,496	2,153,037	銀行	
MCDONALD'S CORP	599	471	14,546	2,320,511	消費者サービス	
MERCK & CO. INC.	599	471	5,377	857,879	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NIKE INC -CL B	599	471	2,466	393,476	耐久消費財・アパレル	
PROCTER & GAMBLE CO	599	471	6,795	1,084,032	家庭用品・パーソナル用品	
SALESFORCE INC	599	471	9,202	1,467,966	ソフトウェア・サービス	
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	599	471	14,296	2,280,539	素材	
THE WALT DISNEY CO.	599	471	4,686	747,657	メディア・娯楽	
TRAVELERS COS INC/THE	599	471	13,969	2,228,472	保険	
UNITEDHEALTH GROUP INC	599	471	12,980	2,070,615	ヘルスケア機器・サービス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	599	471	2,354	375,519	電気通信サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES	599	471	14,206	2,266,189	金融サービス	
WALMART INC	599	471	5,605	894,243	生活必需品流通・小売り	
AMAZON.COM INC	599	471	9,672	1,543,025	一般消費財・サービス流通・小売り	
AMGEN INC	599	471	16,381	2,613,157	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
APPLE INC	599	471	11,680	1,863,246	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CISCO SYSTEMS INC	599	471	3,657	583,414	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	599	471	17,986	2,869,139	ソフトウェア・サービス	
NVIDIA CORP	599	471	8,134	1,297,562	半導体・半導体製造装置	
合 計	株 数 銘柄 数 < 比 率 >	17,970 30	14,130 30	348,678 -	55,621,265 < 92.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	別	当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外国	株式先物取引	百万円	百万円
	EMINIDOW	4,392	-

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	55,621,265	91.8
コール・ローン等、その他	4,984,625	8.2
投資信託財産総額	60,605,890	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (57,612,505千円) の投資信託財産総額 (60,605,890千円) に対する比率は95.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=159.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	62,955,144,781
コール・ローン等	4,293,118,451
株式(評価額)	55,621,265,306
未収入金	2,392,818,420
未収配当金	65,374,585
未収利息	57,409
差入委託証拠金	582,510,610
(B) 負債	2,610,603,154
未払金	2,467,343,346
未払解約金	143,259,808
(C) 純資産総額(A-B)	60,344,541,627
元本	11,296,448,577
次期繰越損益金	49,048,093,050
(D) 受益権総口数	11,296,448,577口
1万口当たり基準価額(C/D)	53,419円

(注) 当ファンドの期首元本額は14,673,013,486円、期中追加設定元本額は6,471,453,555円、期中一部解約元本額は9,848,018,464円です。

(注) 2026年3月23日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ 上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均) 為替ヘッジあり	4,233,173,816円
・ インデックスファンドNYダウ30(アメリカ株式)	2,899,705,032円
・ インデックスファンドNYダウ30・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	1,757,088,277円
・ インデックスファンドNYダウ30・為替ヘッジあり2(適格機関投資家向け)	1,639,071,368円
・ インデックスファンドNYダウ30・為替ヘッジなし(適格機関投資家向け)	454,996,671円
・ 上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均) 為替ヘッジなし	240,840,135円
・ インデックスファンドNYダウ30・為替ヘッジあり3(適格機関投資家向け)	71,573,278円

(注) 1口当たり純資産額は5,3419円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○損益の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,063,071,990
受取配当金	979,855,259
受取利息	44,140,223
その他収益金	39,076,508
(B) 有価証券売買損益	10,855,698,076
売買益	15,500,867,183
売買損	△ 4,645,169,107
(C) 先物取引等取引損益	6,112,693
取引益	817,371,228
取引損	△ 811,258,535
(D) 保管費用等	△ 7,897,860
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	11,916,984,899
(F) 前期繰越損益金	51,765,350,467
(G) 追加信託差損益金	26,072,026,735
(H) 解約差損益金	△40,706,269,051
(I) 計(E+F+G+H)	49,048,093,050
次期繰越損益金(I)	49,048,093,050

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2025年3月22日から2026年3月23日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
  - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
  - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第49条)
  - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」から「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」に変更いたしました。(第51条)